

いの町史編さん室だより (No.14)

広報7月号に、いの町史「未来へのメッセージ」の応募用紙を挟み込んでいましたが応募いただけましたでしょうか？当初は締切日を9月30日としていましたが、より多くの皆さんにメッセージをいただきたく、締切日を来年の平成26年1月10日（金）まで延長することにしました。ご家族、ご友人に声かけをしていただき、ふるって応募ください。寄せられたメッセージはお名前と共に半永久的に町史に残ります。また投函箱は、本庁（1階ロビー）・枝川出張所・八田出張所・吾北総合支所・本川総合支所・すこやかセンター伊野・吾北中央公民館・本川ブラチナ交流センター・天王コミュニティーセンターの他、新たに、いの町立図書館・いの町観光協会・ぐりぐらひろばに設置しています。なお応募用紙が必要な方は社会教育課（☎893-2012）までご連絡ください。

ちょっと昔の話 「いの町に植物はどのくらいあるの？」 編さん委員 鴻上 泰

〇いの町に植物はいったい何種類くらいあると思いますか？

高知県では2009年に「高知県植物誌」が発刊されています。この本は県内に自生するシダ植物と種子植物をリストアップしたもので、189科3170種類の植物名が見出しとして挙げられています。同時に採集された主な場所と記録された産地が分布図として表示され、さらに巻末には開花結実期・垂直分布表と市町村別分布表とが付加されています。この分布表は旧市町村別ですが、いの町を数えてみますと1633種類（伊野906、吾北723、本川1047）になりました。なんと高知県の植物の半数以上がいの町にあることになるのです。いの町は海には面してはみませんが、八田から瓶ヶ森まで標高差が1800m以上もあるわけですから、県内でも植物の種類が多いことは容易に想像がつかますね。特に山岳地帯の落葉広葉樹林帯では、他の地域にはない多様な北方系の植物たちが生育していますので、それらがいの町の植物数を押し上げているのです。



〇植物班のめざすもの

私たち植物班では、特にいの町を代表すると思われる植物たちを町史で紹介しようと思っています。代表する植物というのは、具体的には①普通に見られるものでも景観的にいの町に欠かせないもの。たとえば川沿いに群落をなすキシツツジや、国道沿いのがけに見られるタキユリなど。②県内ではいの町（もしくはいの町を含み県内数か所）でしか見られない植物。これが結構たくさんあり、キレンゲショウマやイワギク、シコクシラベなどおそらく100近くはあると思います。③いの町で最初に発見されて命名された植物。テバコモミジガサやテバコマンテマ、チャボツメレンゲなどがそれです。そのほか、かつてはよく見られたものでありながら、現在は見られなくなってしまった植物なども確認したいと思います。



〇越裏門小学校の野草園と「本川村の草花」

皆さんは越裏門小学校の「花木山野草園」をご存知ですか。故和田計幸先生が中心になって、子供たちの情操教育のために造られたもので、現在でもたくさんの草花が花を咲かせています。8mほどに育ったトチノキ、ナツツバキ、コウヤマキなどの樹林に、キレンゲショウマをはじめ四国山地で見られる代表的な植物が100種類以上植えられています。本川でもめったに見られなくなってしまったクマガイソウやサルメンエビネなどが目の前で見られるのです。地元の方が手入れをしてくださっているので、機会があったら是非見に行ってください。なお、和田先生は平成14年に教育委員会から「本川村の草花」という本を発刊されていますので、そちらも是非ご覧ください。

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室（内線 31）
☎ 893 - 2012 FAX 893 - 2013

いろんな情報
をお待ちして
います。

